

くるはら

2015(平成27)年 8月10日

第 49 号

発行 来原地区コミュニティ
づくり連絡協議会

編集 広 報 部



安芸のはやし田

地域の誇る伝統芸能



バイ流し

ふるさと応援の会 バスハイクとは？

ふるさと応援の会広島支部では、年一回の安芸高田市日帰りバスハイクを実施されています。安芸高田市の魅力を再発見しようと呼びかけを行い、毎回バス二台ほどの応援ツアーとなります。

今回は三回目。これまで二回は、秋に神楽門前湯治村での神楽鑑賞を中心に、郡山城、博物館、湧永庭園などをめぐるとツアーをされてきましたが、今回は「安芸のはやし田」の鑑賞をメインに、五月のさんばい祭りに合わせて実施されました。

今回も七十三名の参加者があり、産直市で新鮮野菜をしっかりと買っていただき、湧永庭園を散策し、その後さんばい祭りの会場へ来られ、昼食とはやし田の鑑賞、その後湯の森で温泉につかり、再び会場で神楽を鑑賞……と、充実した一日を過ご



て帰っていただきました。

参加された皆さんの感想は、おおむね「すばらしかった」「よかった」というものでした。主催者としても一安心です。

応援の会広島支部は、このほか「郡山清掃隊」や「川根のゆずもぎ隊」など、安芸高田市に近しいという利点を活かし、文字通りふるさとの活動を応援していく活動を計画されています。

「安芸高田市ふるさと応援の会」のホームページでも、今回のバスツアーの様子などアップされていますので、ぜひ見てく

バスハイク参加者の方からご感想をいただきました

民俗学者宮本常一は「民具収集では年寄りや若者が手伝う。民具を通して会話が生まれ、地域が元気になる」と言ったとか。

小学校体育館は大いに賑わっていた。さんばい祭りでも一つになった来原。文化も同様である。

正 本 眞理子

六十年振りに見たはやし田と思いがけない人との出会いがあった。昔を懐かしく思い出す。

昔ながらの風情が今も伝承され、見る者に感動を与えた民俗芸能はやし田。ふるさとの匂いが心にしみた感謝の一日だった。

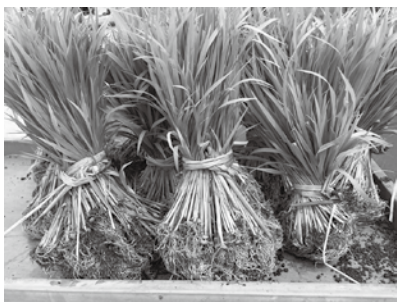
平 昭 治

今回、新たな試みとして、SNS(ソーシャルネットワークサービス)を使って「原田はやし田」のPRをしてみました。写真や動画を簡単に載せることができ、更新内容がすぐに反映されるので、楽しさをタイムリーに伝えることができました。また、友達から友達へ顔の見える範囲に情報が届けられるので、記事に寄せられるコメントなども面白く、私たちも励みになります。

五月の中旬にフェイスブックにページを作り、練習風景、前日の準備の様子、当日の会場の周りや実演の様子を写真や動画を中心に載せていきました。

短期間の掲載であったのですが、八十三人の方に「いいね」をいただき、一番多く見ていただいた記事で九〇〇人を超えています。

今後も、このページを使って、PRをしていきたいと思います。



[www.facebook.com/
Harada.hayashida](http://www.facebook.com/Harada.hayashida)

絆の原点は コミュニティ活動！



来原コ連協会長

平野 弘 則

来原地区コミュニティづくり連絡協議会も昭和五十三年発足以来今日まで三十七年間、当会の目的としている地域の皆様が心豊かに安心して住める住民主役の住民自治への厚い想いと、先輩各位のご指導等により今日を迎えられていることに感謝致します。

今年度総会に於いての役員改選で引き続き重責を担うことになりました。今までに増してご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。

さて、来原地域も平成十六年の安芸高田市誕生以来十年を経過し、ご多分にもれず、全国的に言われている過疎高齢化が進み、これまで以上に地域のコミュニティが大切であると痛感しています。

特に自然と大地を守る地域の基幹産業としてお互いに携わってきた農業が大変厳しい状況にあることをはじめ、

地球温暖化が起因すると言われる異常気象の発生、なかでも昨年八月に広島市北部を中心に襲った大災害等、また身近では鳥獣被害対策等々、地域全体で対処しなければできない数多くの課題が山積みしています。

お互いの生活環境の変化とニーズの多様化する地域社会も高齢化は確実に進んでいます。

安全に安心して暮らせる地域社会環境づくりは、昔から地域で引き継がれている「もやいの精神・地域の絆」を基本とした地域コミュニティづくりの住民自治活動が大切と痛感します。

これからもお互いに声を掛け合い、人の出会いと一人ひとりを大切に来原コ連協活動に関心をもち、積極的な参加・協力そして提案・提起とご指導をお願い致します。

新副会長3人体制にてよろしく願います

副会長 秋國 満さん



来原地域の皆様「こんにちは」いかがお過ごしでしょうか？
この度の総会において副会長という重責を担う事になりました。
長い間の経験を生かして、平野会長を猪掛、岡田両副会長と共にしっかりと支えていこうと思っています。
皆様方のご支援とご協力を宜しくお願い致します。

副会長 猪掛 公詩さん



これまで地域では色々な関わりを持たせて頂きましたが、この度コ連協の副会長という大きな役目をいただきました。
子どもからお年寄りまで、「来原はええよね」と言える地域を創っていきましょう。微力ではありますが貢献していきたいと思います。宜しく願います。

副会長 岡田 明美さん



先日、女性部の部長になってもらえなにかと依頼を受けた時には、人前で何かをする事が苦手な私は正直戸惑いました。
しかし、非力ではありますが、皆様のお役に立てるよう出来るだけ頑張っています。こうと思いますので宜しくお願いします。

家庭・学校・地域で 協育を！



安芸高田市立
来原小学校長

高坂 広昭

新任教頭として赴任し、四年間勤務させていただいた来原小学校に、今度は新任校長として赴任してまいりました。

私は、地域を大切に、子供や学校を第一に考え、何を置いても学校に協力してくださる来原の皆さんが大好きです。

今、学校は大きく変わろうとしています。学校だよりも紹介している「広島版『学びの変革』アクション・プラン」がそれです。本校でも、子供たちと「夢中で学ぶ」授業を創造していくため、新たな取組みを始めたところです。

しかし、教育の方向性がどのように変わるうと、家庭や地域の協力を抜きにして子供に力をつけることはできません。どうぞ、これまで同様のご支援、協力をいただきますよう心よりお願い申し上げます。



安芸高田市立
くるはら保育園 園長

建 畠 小百合

来原地区コミュニティづくり連絡協議会の皆様方をはじめ、来原地域の皆様方には、平素より本園の運営ならびに保育活動に深いご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、本園では、年間を通して地域の方との交流を計画しています。今年も六月三十日に、来原地区コミュニティづくり連絡協議会から、「花の苗を植える会」の支援をいただき、民生委員児童委員のみなさんに手伝っていただきながら、子どもたちとたくさんきれいなお花を植えることができました。

また、なかよし会として老人会の方のおかげで、野菜の苗植え、しばもち作り、いも掘り、餅つき、とんど……など、普段できない経験を子どもたちがたくさんすることができています。くるはらの未来を担う子どもたちが、地域の方の優しさに触れながら、素晴らしい環境のなかで育つことができることに感謝しています。

戦争体験と 平和への想いを語り継ぎ、 地域づくりを



来原地区老人クラブ連合会会長

久保田 慧 壮

私が今一番心に強く思い詰めている事は、あの忘れ得ぬ昭和の激動の時代の歴史を後世に語り継ぎたいという事です。

規制の厳しかった食料難事情、物や労働力の乏しかった戦中戦後の時代でもお互いが助け合い、愛情を持って慈しみあって共に生き抜いて来られたのは、日本民族の美しい大和魂によるものであると思うのです。

現今の物質文明の豊かさに恵まれた生活は、心の豊かさを失い、心が貧しくなって自己中心で、ゆとりある生活を豊かさとして認識しているのではないのでしょうか。人情味豊かで明るく活気に満ちた農村文化、魅力ある地域を私たち郷土の宝として次世代に引き継いで行かねばなりません。にぎわいやふれあいは活力の源です。

一層の地域発展に尽力していきましょう。
老人会では、この事に深く思いをいたしながら、戦争を体験し、物資も食料もなかった時代の思い出話や平和についても語り合いつつ、クラブの活動へも積極的に参加して頂き、一層の明るい地域づくり発展繁栄につなげて頂きたいと願っておりますので、皆様方今一層のご尽力の程を宜しくお願い申し上げます。

恒例の高宮方面隊団長査閲が開催されました



今後、地域の方々の生命・財産を守り、地域に密着した活動を展開していきたいと思えます。

六月七日(日)の総合訓練以後、夜に練習を重ねておりましたが、その結果第二分団(来女木)が二位に入賞することができました。

移し、訓練礼式の部のみとなりました。



七月五日(日)、安芸高田市消防団高宮方面隊恒例の団長査閲が開催されました。

当日は雨天が予想されたため、B&G高宮海洋センターに会場を

駐在所より



初めまして。今年の三月末から原田駐在所勤務となりました、花岡誠一郎と申します。

前任地は福山東警察署で勤務をしており、このたび初めての駐在所勤務ということもあり、緊張感を持って勤務にあたっております。

原田駐在所の勤務の感想ですが、とても良い勤務地だと思っております。住民の方もみなさん良い方ばかりですし、また、自然も多く、事件事故が少ない地域で、私自身ここに来て良かったと実感しております。今後この環境が維持できるように、積極的にパトロールをしていきますし、また、皆さんとの意見交換ができるように積極的に巡回連絡をしていきたいと思えますので、今後ともよろしくお願ひ致します。

来原郵便局から

来原地区の

みなさまへ



平素より郵便局運営にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。せっかくの機会ですので来原郵便局の紹介をさせていただきます。

私は局長の竹廣陽介です。父親が郵便局員という家庭に育ち、大学卒業後、美土里町の横田郵便局に採用となりました。

その後、広島市の中国支社に勤務し、この春から来原郵便局に参りました。

そして、窓口業務を担当するのが常川温美です。昨年の春に吉田郵便局から来原郵便局に転勤となりました。また、出身は安芸高田市の向原町ですので、街で彼女を見かけたら声をかけていただければと思います。窓口での温かい皆様とのお話が何よりの励みとなっています。

以上の若い二人で郵便局の仕事をやってまいります。来原地区の皆様様に親しまれるよう精一杯努力してまいりますので、今後とも来原郵便局をよろしくお願ひいたします。

「高宮春風館」の紹介

春風館 館長 田中道俊
 主将 清水叶都

「春風館」は、来女木剣道スポーツ少年団OB「春風館」の指導のもと、子どもたちの健やかな身体と心を育てるため、平成十七年の春に発足しました。現在の会員は、小学生十人、中学生八人です。

練習は、毎週月・水・土曜日の午後七時から約一時間半、来女木公民館で行っています。そのほかにも、焼肉大会やク



リスマス会、卒業生を送る会など、楽しい行事もいっぱいやっています。

「春風館」は、県北の大会でたくさんのお秀な成績を修めています。最近では、平成二十五年の広島県道場少年剣道大会で、小学生チームが、広島県内の並居る強豪を撃破し、初優勝をいたしました。

この大会で、初めて全国大会への出場を決めました。

以後、平成二十六年・二十七年と連続して、全国大会に出場することとなりました。さらに、平成二十七年は、中学生チームも全国大会への切符を手に入れました。

現在、七月二十八日～三十日、日本武道館において開催されます、第五十回全国道場少年剣道大会に向け、月水土の週三回の練習に加え木曜日も練習を行い、日々稽古に励んでおります。

このたびは、全国大会に向けての立派な横断幕を作成していただき誠にありがとうございました。

大会では、日本各地の剣士と交流を深め、持てる力を十二分に発揮し頑張ってください。

みなさんの応援をよろしく願います。

来原地区の人口の推移について

		世帯数 (戸)	人口 (人)	年少比率 0~14才(%)	高齢比率 65才~(%)
安芸高田市	2005年	13,223	34,358	11.93	31.14
	2015年	13,515	30,368	10.93	35.54
10年間にける変化値		292	-3,990	-1	4.4
高宮町	2005年	1,816	4,488	10.81	41.62
	2015年	1,684	3,652	8.6	45.64
10年間にける変化値		-132	-836	-2.21	4.02
来原地区	2005年	613	1,479	11.29	40.37
	2015年	594	1,306	10.11	44.64
10年間にける変化値		-19	-173	-1.18	4.27

人口の減少や担い手の不足などがマスコミなどでも話題になっています。
 私たちが住む来原の人口は、どのような状況でしょうか。

【住民基本台帳 2005年4月(平成17年)及び2015年4月(平成27年)の数値より】

今年の二月に開催されたまちづくり講演会で、講師の藻谷浩介さんからは、安芸高田市は人口一〇万人の広島市に隣接し、雪深い地域でもなく交通の利便性も高いことから、恵まれた地域であると語られていました。

しかしながら、地域においては人口の減少と少子高齢化により、様々な担い手の不足が進んでいます。このままでは、地域が存続していくのだろうかと不安を感じられることもあると思います。

私たちの来原地域がより住みやすい所になるように、地域の担い手をどのようにして確保するのか、また、少ない人口でも地域で支えあい安心して暮らせるように、知恵を出し合いながら少しずつでも取り組みたいものです。

次号は、来原地域の将来人口の予測についてご紹介いたします。

来原地域集落人口状況

【住民基本台帳数値】2015年4月(平成27年)

集 落 名	人 口 (人)	年少人口 0~14才(人)	年少比率 (%)	高齢人口 65才~(人)	高齢比率 (%)
す だ れ	67	7	10.45	24	35.82
切 田	28	5	17.86	10	35.71
深 渡	37	1	2.70	15	40.54
中 原	16	0	0	9	56.25
塔ヶ峯	85	0	0	84	98.62
上 沖 城	45	6	13.33	17	37.78
下 沖 城	68	10	14.71	29	42.65
上 城	63	6	9.52	28	44.44
土 居 谷	46	4	8.70	14	30.43
穴 戸 城	50	6	12.00	17	34.00
細 河 内	37	2	5.41	12	32.43
後 岡 城	100	23	23.00	27	27.00
日 南 側	66	13	19.70	20	30.30
東 城	56	4	7.14	22	39.29
上 仁 王 丸	55	6	10.91	21	38.18
下 仁 王 丸	49	8	16.33	19	38.78
山 田	19	3	15.79	8	42.11
粒 原 1	23	2	8.70	13	56.52
粒 原 2	10	0	0	6	60.00
茂 谷	85	8	9.41	38	44.71
仲 仙 道	31	0	0	15	48.39
後 迫	29	3	10.34	12	41.38
常 広	79	6	7.59	40	50.63
宮 迫	60	6	10.00	34	56.67
向 原	54	0	0	26	48.15
行 田	17	0	0	9	52.94
来 女 木 市	31	3	9.68	14	45.16
計	1306	132	10.11	583	44.64

2015年度 来原地区コミュニティづくり連絡協議会役員名簿

	行政区名	推進委員	女性部連絡員		色別理事	顧問		執行部		
原	赤	すだれ 20	丸田 信雄	岩田 洋子	坂本 悦子	中川 雅彦	顧問	秋田 雅朝	会長	平野 弘則
		切 田 8	末田 詔	中村 月美		荒川 裕	〃	塚本 近	副会長	猪掛 公詩
		深 渡 11	新田 義明	新堂 静枝		中村 月美	〃	高坂 広昭	〃	秋國 満
		中 原 8	曾根 章男	田村 美代子		岩崎 美代子	グループ理事		〃	岡田 明美
		上 沖 城 18	神山 吉子	岩崎 美代子	神堀 千恵美		来女木ひまわり会	秋國 満	総務部長	岩崎 猛
	緑	下 沖 城 28	遠野 一基	上野 こそえ	桑岡 春子	上野 司	〃	小田 忠	部 員	中村 月美
		上 城 24	水木 伸行	佐々木 亜矢	水木 美紀	水木 伸行	〃	岩崎 猛	福祉厚生部長	岩見 宏
		土 居 谷 16	上野 司	上野 祥子	遠野 裕美	上野 こそえ	〃	津山 寛	部 員	河内 直美
	黄	〃	〃	〃	〃	水木 美紀	原田カラス会	猪掛 公詩	体育部長	信藤 清
		〃	〃	〃	〃	〃	〃	中川 雅彦	部 員	猪掛 生詩
		〃	〃	〃	〃	〃	〃	猪掛 生詩	〃	新庄 智子
		〃	〃	〃	〃	〃	〃	小早川 章	青少年育成課	出張 一樹
		〃	〃	〃	〃	〃	来女木子ども会	伊藤 武宏	部 員	伊藤 武宏
		〃	〃	〃	〃	〃	原田子ども会	市尻 篤識	〃	市尻 篤識
		〃	〃	〃	〃	〃	来原小学校PTA	出張 一樹	〃	中崎 芳和
		〃	〃	〃	〃	〃	高宮中学校PTA	中崎 芳和	文化部長	上野 一彦
		〃	〃	〃	〃	〃	民生委員協議会	岩見 宏	部 員	吉岡 琢
	白	〃	〃	〃	〃	〃	社会福祉協議会	—	〃	今田 和哉
〃		〃	〃	〃	〃	老人会	久保田 慧壮	〃	上野 こそえ	
〃		〃	〃	〃	〃	〃	出張 金三	環境安全部長	中崎 克則	
〃		〃	〃	〃	〃	J A	中崎 克則	部 員	岩崎 美代子	
〃		〃	〃	〃	〃	神 楽 団	吉岡 琢	〃	津山 寛	
〃		〃	〃	〃	〃	〃	今田 和哉	広報部長	山根 温子	
〃		〃	〃	〃	〃	原田はやし田保存会	上野 一彦	部 員	中川 雅彦	
来女木	紫	茂 谷 36	児玉 征之助	岡田 明美	泉 奈巳枝	信藤 清	〃	出張 金三	〃	中崎 克則
		仲 仙 道 17	信藤 清	寺本 幸枝	秋田 留美子	児玉 征之助	〃	中崎 克則	部 員	岩崎 美代子
		後 迫 15	中村 輝之	雪貞 勢津子		岡田 明美	神 楽 団	吉岡 琢	〃	津山 寛
	茶	行 田 10	南 忠信	沖田 静子		泉 奈巳枝	〃	今田 和哉	広報部長	山根 温子
		宮野・常広 30	上川 真司	永田 由美子	宮田 美奈登	新庄 勇二	原田はやし田保存会	上野 一彦	部 員	中川 雅彦
		宮 迫 25	元村 光明	秋國 哲子	元村 禮子	伊藤 良治	消 防 団	中川 雅彦	〃	小田 忠
向 原 27	新庄 勇二	新庄 智子		永田 由美子	〃	住吉 主税	〃	川 森 博 継		
来女木市 18	伊藤 良治	秋野 郁子	亀井 幸恵	新庄 智子			〃	中土居 博臣		
合計	26集落								監 事	伊藤 良治
									〃	荒川 裕
									事務局	川 森 博 継
									事務局兼会計	岩 見 孝 志



☆「連協等行事予定(下半期)」

- 9月5日 高中ナイター運動会
- 9月27日 来原小運動会
- 10月3日 くるはら保育園わんぱく運動会
- 10月11日 敬老会
- 10月18日 第33回たかみや大地の祭り
- 11月下旬 原田神楽団太刀納め・原田客祭り
- 11月中旬 福祉弁当高齢者訪問
- 11月23日 来女木客祭り
- 3月中旬 福祉弁当高齢者訪問
- 3月20日 くるはらミニ駅伝競走大会

編集後記

広報「くるはら」の一面を飾る「安芸のはやし田」。観る人の心に、ふるさとの匂いが染み入る一日となりました。

地域の内から発する力が、文化と伝統を守り、人から人へ繋いでいきます。

地域の皆様の力をつなぎ、広げていける広報活動に向けて、今後とも皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

また、今回は、来原地域の人口減少の実態を報告しております。地域の実情について、情報収集し、提供できるよう努めてまいります。次回冬号は、地域の人口予測・空き家の実態などについて掲載を予定しています。